

## 9. 雇用情勢

雇用情勢は、厳しさが残るなかで、改善に足踏みがみられる。

(前年比は原数値、( )内は季調値)

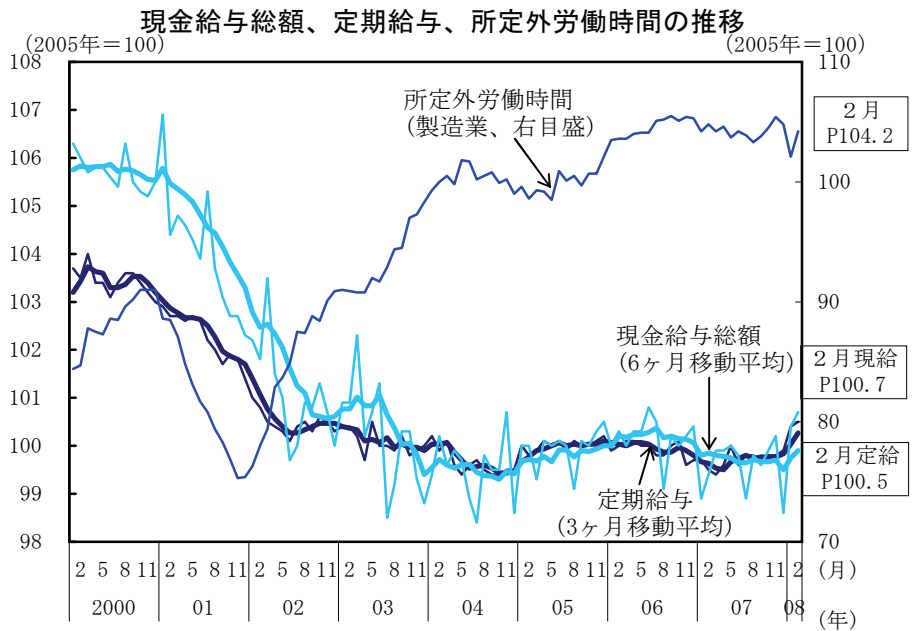
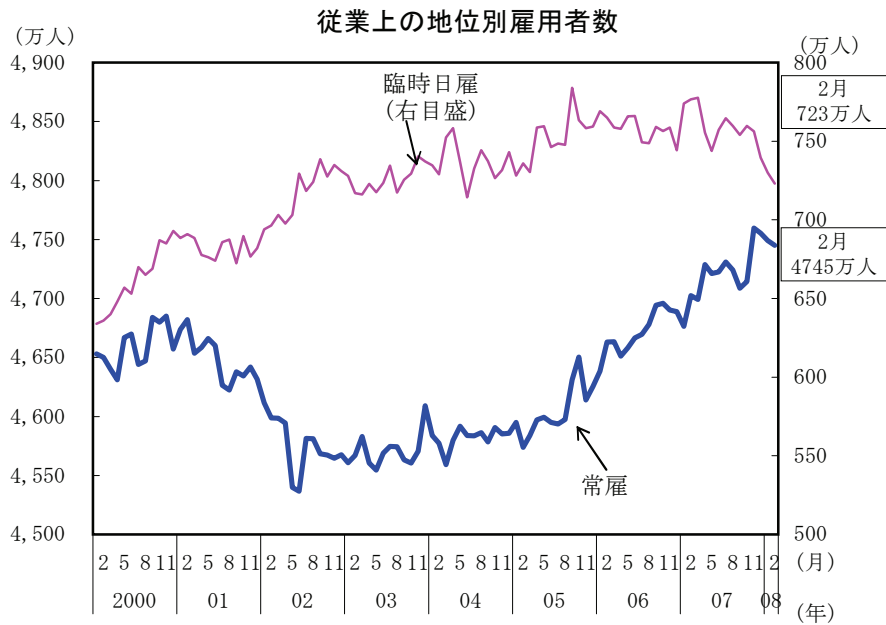
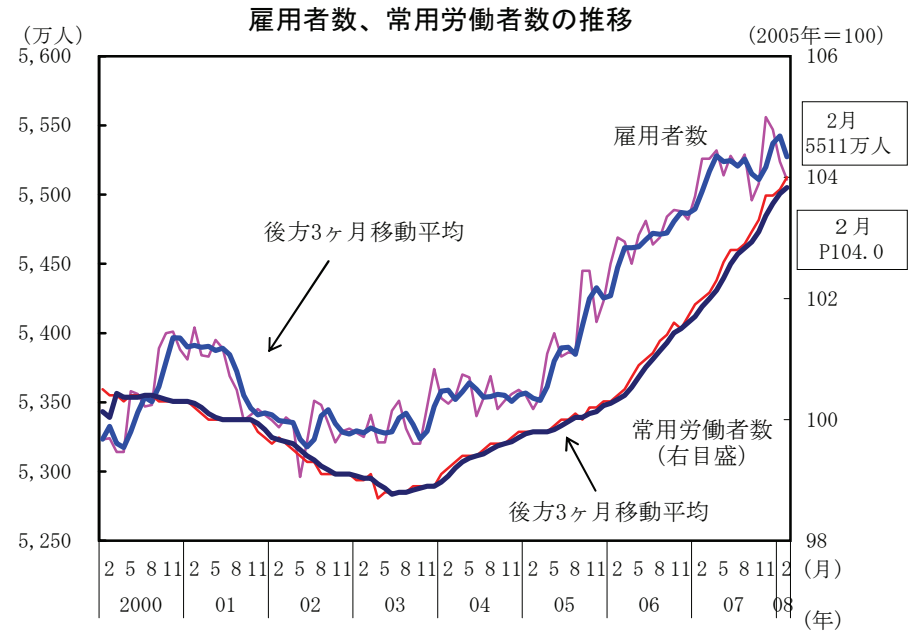
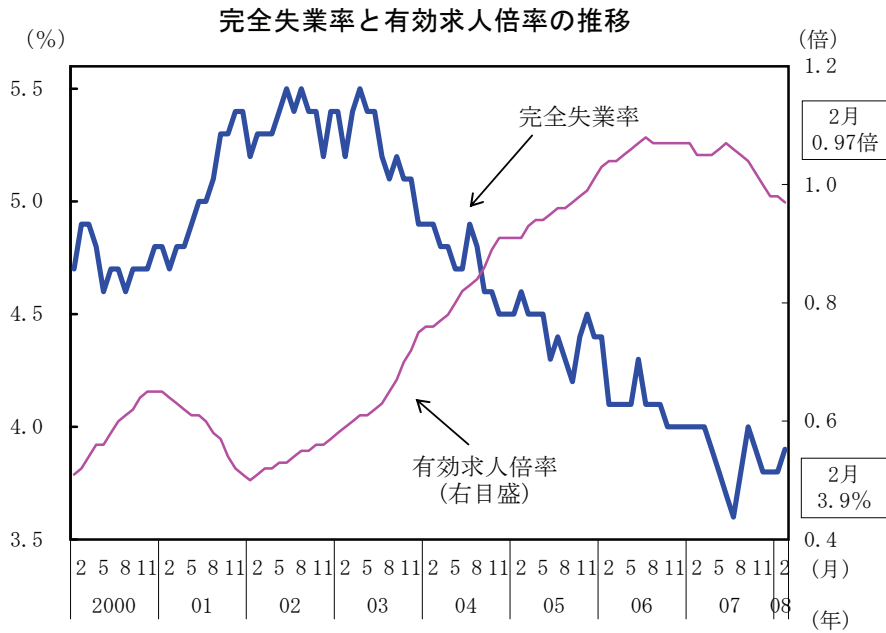
	2006年	2007年	2007年7-9月	2007年10-12月	2007年12月	2008年1月	2月
完全失業率 ( % )	4.1	3.9	( 3.8 )	( 3.8 )	( 3.8 )	( 3.8 )	( 3.9 )
完全失業者数 総数 ( 万人 )	275	257	( 252 )	( 255 )	( 254 )	( 256 )	( 262 )
うち非自発的な離職による者	88	83	( 79 )	( 83 )	( 82 )	( 80 )	( 81 )
うち自発的な離職による者	106	98	( 98 )	( 97 )	( 98 )	( 103 )	( 99 )
雇用者数 ( 万人 )	5,472	5,523	( 5,515 )	( 5,537 )	( 5,547 )	( 5,524 )	( 5,511 )
( 前期比、 % )			( 0.2 )	( 0.4 )	( 0.2 )	( 0.4 )	( 0.2 )
( 前年比、 % )	1.5	0.9	0.8	0.9	1.1	0.5	0.3
常用労働者数 ( 前期比、 % )			( 0.3 )	( 0.7 )	( 0.0 )	( 0.1 )	( P ) ( 0.2 )
( 労働者計 ) ( 前年比、 % )	1.0	1.8	1.7	2.0	2.0	1.9	( P ) 2.0
新規求人数 ( 前期比、 % )			( 2.6 )	( 6.0 )	( 0.2 )	( 1.4 )	( 4.5 )
( 前年比、 % )	4.3	6.4	8.1	9.6	15.1	9.8	9.9
有効求人数 ( 前期比、 % )			( 1.0 )	( 4.8 )	( 1.2 )	( 1.9 )	( 0.7 )
( 前年比、 % )	6.1	5.0	5.8	8.7	10.6	11.4	11.0
有効求人倍率 ( 倍 )	1.06	1.04	( 1.05 )	( 1.00 )	( 0.98 )	( 0.98 )	( 0.97 )
求人広告掲載件数 ( 前年比、 % )	6.3	-	8.4	6.0	6.4	7.2	4.2
所定外労働時間 ( 前期比、 % )			( 0.1 )	( 0.0 )	( 0.0 )	( 1.0 )	( P ) ( 2.9 )
( 残業時間等 ) ( 前年比、 % )	2.6	0.8	0.4	0.2	0.2	0.9	( P ) 1.8
製造業 ( 前期比、 % )			( 0.5 )	( 1.2 )	( 0.6 )	( 2.6 )	( P ) ( 2.1 )
( 前年比、 % )	4.5	0.2	1.5	0.4	0.5	2.0	( P ) 0.6
現金給与総額 ( 前期比、 % )			( 0.5 )	( 0.2 )	( 1.6 )	( 1.8 )	( P ) ( 0.3 )
( 1人当たり・名目 ) ( 前年比、 % )	0.3	0.7	0.6	0.9	1.7	1.6	( P ) 1.3
実質賃金 ( 前期比、 % )			( 0.7 )	( 0.2 )	( 1.9 )	( 1.7 )	( P ) ( 0.3 )
( 前年比、 % )	0.1	0.8	0.4	1.5	2.6	0.6	( P ) 0.2
定期給与 ( 名目 ) ( 前期比、 % )			( 0.1 )	( 0.0 )	( 0.1 )	( 0.5 )	( P ) ( 0.1 )
( 前年比、 % )	0.0	0.2	0.1	0.1	0.2	0.7	( P ) 1.0

(備考) 1. 常用雇用指数、現金給与総額、実質賃金および所定外労働時間は事業所規模5人以上。

2. 求人広告掲載件数は(社)全国求人情報誌協会資料より。

統計に断絶があり、暦年前年比は計算不能であるため、2006年度の対前年度比を記載。

3. 定期給与とは、きまって支給する給与のことであり、所定内給与と所定外給与の合計。



(備考) 1. 総務省「労働力調査」より作成。  
 2. 季節調整値(「従業上の地位別雇用者」は内閣府において試算)。  
 3. 「常雇」は雇用契約期間がない者または1年を超える者、臨時日雇は1年以下の者のこと。

(備考) 1. 厚生労働省「職業安定業務統計」、「毎月勤労統計調査」より作成。  
 2. 季節調整値。